

令和元年
第3回
評議員会会議録

7月1日(月)

国立市土地開発公社

令和元年 第3回 国立市土地開発公社評議員会会議録

1. 開催日 令和元年7月1日(月)

2. 場所 国立市議会 委員会室

3. 出席者

(1) 評議員 10名 (————は欠席を表す)

会長 青木 健	副会長 重松 朋宏	高柳 貴美代
関口 博	古濱 薫	住友 珠美
柏木 洋志	小口 俊明	青木 淳子
藤江 竜三		

(2) 理事 7名

理事長 竹内 光博	副理事長 是松 昭一
出納理事 藤崎 秀明	常務理事 門倉 俊明
理事 雨宮 和人	理事 大川 潤一
理事 橋本 祐幸	理事 江村 英利

(3) 事務局 4名

事務局長 立川 浩平	庶務係長 河村 善之
庶務係員 鍬田 彩葉	用地係員 杉山 紀夫

4. 議題

協議事項5 令和元年度国立市土地開発公社事業計画変更案

協議事項6 令和元年度国立市土地開発公社補正予算(第1号)案

5. 会議時間 開会 午後2時00分

閉会 午後2時15分

議 長 (青 木 健 君)

本日は国立市土地開発公社評議員会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

南部地域では水田の田植えも進み、徐々に夏の風景にかわってまいりました。気象庁の見込みでは、今年の夏の気温は平年並みのようですが、評議員の皆様におかれましては、お体に十分ご留意くださいますようお願いいたします。

それでは、これより評議員会を進めさせていただきます。

ただいまの出席評議員は10名でございます。定足数に達しておりますので、ただいまから令和元年第3回国立市土地開発公社評議員会を開会いたします。

日程第1「会議録署名評議員の指名について」を議題といたします。
議長において、「住友評議員」と「小口評議員」の両名を指名することにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしと認め、「住友評議員」と「小口評議員」の両名を指名いたします。

続いて、日程第2「会期の決定について」を議題といたします。
会期を本日一日とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしと認め、会期を本日一日といたします。

日程第3「理事長挨拶」でございます。理事長、よろしく申し上げます。

理 事 長 (竹 内 光 博 君)

本日は、国立市土地開発公社評議員会を招集しましたところ、皆様に

おかれましては、お忙しい中にもかかわらず、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日提出させていただきました協議事項は、令和元年度事業計画変更案及び令和元年度補正予算（第1号）案についてでございます。

今回、補正する内容は、国立市より市道八王子道拡幅用地の先行取得依頼があったことによるものでございます。この件につきまして、補正予算として本日の協議に付すものでございます。

内容につきましては、事務局から説明させていただきますので、よろしくご協議のほど、お願いいたします。

終わりに、皆様には更なる当公社へのご支援、ご協力をお願い申し上げます、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

議 長 (青 木 健 君)

ありがとうございました。

それでは、日程第4「議題」に入ります。なお、議事の進行上、協議事項5及び協議事項6を一括議題とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしと認め、協議事項5及び協議事項6を一括議題とします。

それでは、協議事項5「令和元年度国立市土地開発公社事業計画変更案」及び協議事項6「令和元年度国立市土地開発公社補正予算(第1号)案」を議題といたします。

当局から説明を求めます。事務局長。

事務局長 (立 川 浩 平 君)

(協議事項5及び協議事項6の説明(省略))

議 長 (青 木 健 君)

説明が終わりました。

それでは、ご質疑・ご意見を承ります。

評 議 員 (重 松 朋 宏 君)

今回取得するのは、4か所ということでよろしいでしょうか。

事 務 局 長 (立 川 浩 平 君)

そのとおりです。

評 議 員 (重 松 朋 宏 君)

取得済みのところについては、事業化はまだされていないのでしょうか。

事 務 局 長 (立 川 浩 平 君)

はい、用地取得事業は進めておりますが、道路拡幅築造工事についてはまだ実施しておりません。

評 議 員 (重 松 朋 宏 君)

市として用地を取得して、築造するときに、市町村土木補助が得られるということで先行取得されているとのことですが、市としていつ事業化される予定でしょうか。

事 務 局 長 (立 川 浩 平 君)

まずこの取得済みの部分に関しましては、市が取得した部分と公社が保有している部分を合わせたものでございます。

市が土地の交換等により、公社を介さず直接取得した部分もございません。公社の先行取得による部分は令和元年度と令和2年度の2年間で、公社から買い戻す予定としております。

評 議 員 (重 松 朋 宏 君)

2年間にわたって市が買い取って、事業を行うということですね。

今回取得する部分については、市が直接買い取って、すぐに拡幅事業化することはできないのでしょうか。

事務局長

(立川浩平君)

公社の先行取得としている主な理由としましては、東京都の補助金を得るためでございます。

東京都の市町村土木補助という補助金の事務的な流れとして、前年度のうちに補助金額の申請を完了しておく必要があります。つまり、今年度の予算で補助金の申請をしていないままで市が直接買収してしまうと都の補助金が得られないため、来年度の市の取得のために、今年度のうちに補助の申請をしておく必要があります。その分の取得については、土地開発公社のほうで実施をさせていただくということです。そのために今回の提案をさせていただいております。

評議員

(重松朋宏君)

今回の部分については、本年度の事業化の見込みがたらず、予算を立てたあとで用地の買い取りの申請があったということでしょうか。

まだ年度が始まって2か月の時点なので、前年度の時点で市の方から取得依頼が来そうだというのは見えていたのではないかとも思いますが。

事務局長

(立川浩平君)

今回の地権者様との交渉は3年近く続けていたもので、年度が明けた5月ごろにご本人の意思が固まったということで契約の合意となり、このタイミングでの補正予算の提案とさせていただいております。

評議員

(重松朋宏君)

相手があることですので、丁寧な対応をされていることと思います。

八王子道は何年も前から事業化していると認識していたのですが、なかなか工事そのものが始まらないと感じているのですけれども、少なくとも今回取得する部分と、すでに取得済みの部分の大部分については、今年度と来年度の2年間で拡幅の事業化がされていくと考えてよろしいでしょうか。

また、これを踏まえて何年度くらいにこの事業が完了する見込みでしょうか。公社としては今後何年間にわたって、このような形での先行取得を行っていく予定でしょうか。

事務局長 (立川浩平君)

市の計画では実施計画でもお示ししておりますが、用地取得につきましては令和2年度までに完了する予定となっております。その後、令和3年度から5年度の3年間で道路拡幅の築造工事を行う予定ということでございます。

評議員 (重松朋宏君)

あと1年余りで残り半分近くを取得の予定ということですね。
1点、気になるのが南側の部分と北側の日野バイパスに接続する部分については事業化されないということでしょうか。

事務局長 (立川浩平君)

市の計画整備事業ですので、市から聞いておりますのは、そのとおりで拡幅整備が完了するという事です。

評議員 (重松朋宏君)

わかりました。
あとは意見としてですが、大変丁寧に対応されていると思います。ようやく半分強、取得されてきたということで、あと1年少しで、残り半分近くの土地をこれも公社で先行取得することになると思いますが、丁寧に用地交渉を進めていただくことをお願いしたいと思います。

議長 (青木健君)

ほかに、ございませんか。

なければ、これで協議事項5及び協議事項6について、終了することといたします。

これもちまして、全日程が終了いたしました。
以上で、令和元年第3回国立市土地開発公社評議員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後2時15分閉会